

大会参加にあたっての注意事項（連盟公式戦全試合） 2019年6月1日改訂

- * 第一試合の各球場のチームはメンバー表交換後はベンチ入り以外のコーチはグラウンド内から出てください。二試合目以降は、ベンチ入り以外の人はグラウンド内には入れません。
- * 各チームの選手は、ベンチ入り前にお手洗いは済ませておいてください。
- * 各チームはトス（攻守決定）の放送で呼ばれる前にはメンバー表を準備しておいてください。
（注：『今、書いている』とか『後から持ってきます』は認めません。
4年生以下はメンバー表の名前の横に学年を入れてください。
メンバー表は最初に5部提出のこと。攻守決定後、対戦相手・自チームのメンバー表を渡します。
（自チームのメンバー表はアナウンスが入る時、チームのアナウンス担当者に渡してください。）
① 相手チーム用、②運営責任者用、③審判用、④本部放送席用、⑤アナウンス担当者用
- * リストバンドの使用を認める（投手を除く）
- * 監督・コーチの服装は選手と同一。（大人のユニホームのロングパンツは認めておりません。選手に合わせストッキングが見えるようにしてください。）
- * ベンチ内で選手に指示を出せるのは監督・コーチのみ、その他の人は指示しないように。
ベンチ外であっても同等の場合はチームの責任となります。（場合によっては退場になります。）
- * 守備が長引く場合は健康維持を考慮し給水タイムを取り、**試合時間を止めます。**（夏季大会等）
- * ネクストバッターはバットを振らず低い姿勢で待ってください。その際バットを地面に触れないようお願いします。（立っていても構いませんが、バットは絶対に振らないこと）
- * 前の試合の遅れ又は、天候不安等が生じた場合は、シートノック短縮または中止して試合を開始することがあります。（その場合前の試合の4回以降のブルペンでの投球練習を認めます。）
- * 各球場において、ベンチ内への組み立て椅子・机等の持ち込みは禁止します。
- * チーム帯同審判員は、自チームの試合の球場の第一試合開始90分前に球場入りして31年度の認定書を審判責任者に提出してください。（審判の服装、用具は必ずご用意ください）
（大会初日の帯同審判員（参加される方）は開会式終了後速やかに担当球場に移動して認定書を提出してください） 注：帯同審判員用の駐車券は発行いたしません。
- * 準審判員については、大会期間中はベンチ入りおよび帯同審判は認めておりませんので必ずチーム帯同審判を出すようにお願いします
- * 各チームは試合終了後のグラウンド整備にご協力ください。
- * 大会前に高学年・低学年大会要項を確認して試合に臨んでください。
- * 本大会要項になき事項は、**2019年度版** 全日本軟式野球連盟競技者必携書に規定されている事柄及び野球規則書を準用します。
- * 野球規則 5.05 b (1) 及び定義 7 の四球宣告は適用しません。（投球せず敬遠の宣告）

以上